

展示室1 美しき風景



J.M.W. ターナー
「サン・ゴタル峠の下り道」

目の前の美しい風景を丹念に観察して写す—実はそれだけが風景画ではありません。絵になる美しい風景とは何か、多くの画家がその答えを求めて数え切れない作品を生み出しました。有名な建築物やよく知られた名所を美しく描いたもの。中には古代の遺跡なども描かれました。また嵐や夕焼けの情景を描写して、よりドラマティックな要素を加えた作品もあります。ひとや動物を描き加えることで物語や宗教的意味を象徴したり、空や雲の描写で崇高な自然の脅威や大いなる神の存在を暗示することもできるのです。画家がどんなことを考えて描いたのか、想像しながら美しい風景を見ると、また異なった楽しみ方がみつかるかもしれません。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
R. ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
A. カズンズ	川岸に神殿のある風景		水彩・紙
J.R. カズンズ	サヴォワ地方、サランシュ付近のアルプス渓谷		水彩・紙
J.S. コットマン	フェカンのロマネスク遺跡		鉛筆・紙
T. ゲインズボロ	荷馬車のある丘陵地帯の森の風景	1745～46頃	油彩・キャンバス
T. ゲインズボロ	牧夫と牛のいる森の風景	1758頃	鉛筆・紙
J. コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
J. クローム	ヘレスドンの眺め	1807頃	油彩・キャンバス
J.M.W. ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
J. マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815頃	油彩・キャンバス
J.M.W. ターナー	サン・ゴタル峠の下り道	1848	水彩・紙
J. ラスキン	オーヴェルニュの丘		鉛筆、ホワイトボディカラー・紙
A. グッドウィン	エンゲルベルク		ペン、水彩・紙 佐藤克也氏寄贈
D. コックス	川辺の騎手と人物	1850	水彩、鉛筆、チョーク・紙
T.M. リチャードソン Jr.	コンウェイ城の日没	1855	水彩・紙
《ローダー・コレクション》から			
T. ガーティン	エア川沿いのカークストール修道院	1824	メゾチント・紙
J.M.W. ターナー	ストーンヘンジ	1843～44頃	メゾチント・紙
J.M.W. ターナー	ドーバー海峡	1827	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
J. コンスタブル	ストーンヘンジ	1843～44頃	メゾチント・紙
Sir J. レイノルズ	エグリントン伯爵夫人ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
Sir E. G. パーン＝ジョーンズ	フローラ	1868～84	油彩・キャンバス
J.W. ウォーターハウス	フローラ		油彩・キャンバス

展示室2 日本近代美術の100年

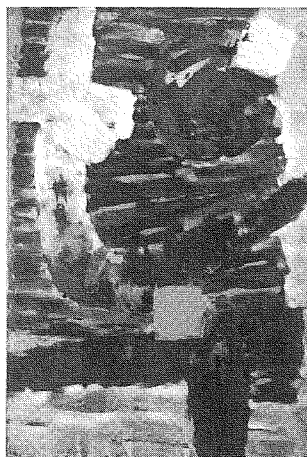


浅井忠「収穫」

明治以降、日本絵画は文明開化の時代に「西洋画」という異文化の輸入によって大きく変容をとげることとなりました。油絵等が美術革新のひとつの道具として盛んに描かれるようになり、洋画家たちは日本固有の絵画の伝統と美意識を継承しつつ、西洋絵画の思想と表現を取り入れようとしたのです。明治から大正、昭和にかけて新しい表現様式がいくつも誕生し、日本絵画に新しい歴史が刻まれました。今回は洋画において各時代を代表する画家たちの作品を展覧します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
高橋由一	風景（鳥海山）	1880年代	油彩・キャンバス
浅井 忠	収穫	1893（明治26）頃	油彩・キャンバス
広瀬孝次	田園景色	1890（明治23）	油彩・キャンバス
山本芳翠	園田 蛙像	1885（明治18）	油彩・キャンバス
原 撫松	婦人像	1906～07（明治39～40）頃	油彩・キャンバス
黒田清輝	東久世伯爵像エスキース	1894（明治27）	油彩・キャンバス
和田英作	上総風景	1897（明治30）	油彩・キャンバス
有島生馬	少女	1908（明治41）	油彩・キャンバス
中沢弘光	風景（海）	1921（大正10）	油彩・キャンバス
岸田劉生	銀座数寄屋橋	1909（明治42）頃	油彩・キャンバス
岸田劉生	銀座と数寄屋橋畔	1911（明治44）頃	油彩・キャンバス
木村荘八	道のある風景	1914（大正3）	油彩・キャンバス
中村 彝	朝顔	1923（大正12）	油彩・キャンバス
小出権重	自画像	1918（大正7）	油彩・キャンバス
古賀春江	蝸牛のいる田舎	1928（昭和3）	油彩・キャンバス
中川一政	冬の郊外（葱畑）	1918（大正7）頃	油彩・キャンバス
林 武	女	1932（昭和7）頃	油彩・キャンバス
中山 巍	花鳥B	1934（昭和9）	油彩・キャンバス
北川民次	荻者	1941（昭和16）	油彩・キャンバス
安井曾太郎	初秋の北京	1944（昭和19）	油彩・キャンバス

展示室3 郡山ゆかりの美術（絵画編）



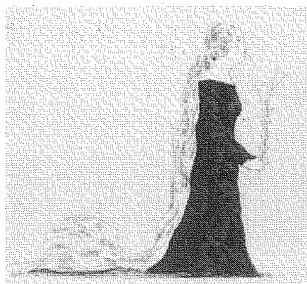
土橋 醇「星雲」

郡山市立美術館では、郡山ゆかりの美術を収集の柱のひとつとしています。今回は、中でも郡山市とその周辺出身の作家たちの絵画を特集展示します。

郡山市とその周辺では、美術の分野で多くの人材を世に送り出しています。海外や東京で活躍する画家もいますが、地元で地道に郡山及び福島県の美術の発展に大きく寄与している画家もいます。当然それらの画風は実に多彩ではありますが、同時に、地方で制作しているとしても、その表現は日本の近代美術の流れの中にあるのだということも忘れてはならないでしょう。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寄贈
須田 圃中	鷹の図		紙本着色	
湯田 玉水	夏山驟雨・晩秋暮鴉		絹本墨画	
佐藤 潤四郎	ガラス作業之図	1984（昭和59）頃	紙本墨画	田淵十一氏寄贈
安藤 重春	虫	1990（平成2）	紙本着色	安藤ヒサヨ氏寄贈
青津 清喜	窓際	1950（昭和25）	油彩・キャンバス	
水田 莊介	横たわる裸婦	1953（昭和28）	油彩・キャンバス	
吉井 忠	地の群れ	1963（昭和38）	油彩・キャンバス	
鎌田 正蔵	飢える人	1952（昭和27）	油彩・キャンバス	鎌田正蔵氏寄贈
菊地 養之助	農民B	1954（昭和29）	紙本着色	菊地一郎氏寄贈
佐藤 昭一	シリーズ人間—Sさんのトマト—	1979（昭和54）頃	油彩・キャンバス	佐藤昭一氏寄贈
黒沢 吉蔵	齊れる高地	1968（昭和43）	紙本着色	
常盤 大空	殷賦考	1962（昭和37）	岩絵具・キャンバス	
土橋 醇	星雲	1963（昭和38）	油彩・キャンバス	

展示室4 ①書物の小宇宙



ディヴィッド・ホックニー

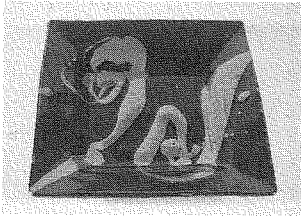
『六つのグリム童話』C版より

「ラプンツェル」

装丁に惹かれて本を手に入れた経験はないでしょうか。本には情報や知識を伝える目的が備わっていますが、古くからその媒体となる文字や挿絵、装丁には作り手たちの美意識が反映されてきました。古今の画家たちが、みごとな挿絵を手がけた本も数多く残されています。本という小さな空間は、私たちの世界観を広げてくれる、最も身近な美術作品ということができるでしょう。今回は、近代のイギリスと日本で生まれた挿絵（本）の魅力をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
T. ビューイック	『英国鳥類誌 第一巻 陸鳥編』第三版	1805 刊	木口木版・紙／本
T. ビューイック	『四足獣概説』第五版	1807 刊	木口木版・紙／本
J. クロホール	『古風な版画集』	1889 刊	木口木版、手彩色・紙／本
ダルジール兄弟（刻）J. ポインター他（画）	『叙事詩』	1807 刊	木口木版・紙／本
ダルジール兄弟（刻）J. レイトン他（画）『人間の一生』（R. ビゴット編）		1866 刊	木口木版・紙／本
ダルジール兄弟（刻）M.B. フォスター他（画）	『フーズワース詩集』	1859 刊	木口木版・紙／本
ダルジール兄弟（刻）F.M. ブラウン他（画）モクソン版	『テニスン詩集』	1859 刊	木口木版・紙／本
ダルジール兄弟（刻）W.H. ハント他（画）	『宗教詩集』	1863 刊	木口木版・紙／本
ダルジール兄弟（刻）G.J. ビンウィル他（画）	『ジーン・インジェロー詩集』	1867 刊	木口木版・紙／本
ダルジール兄弟（刻）G.J. ビンウィル他（画）	『路傍の花々』	1867 刊	木口木版・紙／本
ダルジール兄弟（刻）G.J. ビンウィル他（画）	『ゴールド・スミス作品集』	1875 刊	木口木版・紙／本
Sir E.C. バーン＝ジョーンズ（画）W. モリス	『世界の果ての泉』（ケルムスコット・プレス）	1896 刊	木口木版・紙／本（ヴェラム装）
L. ビサロ（画）	『眠れる美女と赤ずきん』（エラニー・プレス）	1899 刊	木口木版・紙／本
C. リケッツ（画・刻）／C. シャノン	『ダフニスとクロエ』	1893 刊	木口木版・紙／本
O. ピアズリー（画）T. マロリー	『アーサー王の死』分冊本より第6部	1893 刊	ラインブロック・紙／本
E. ギル（画・刻）	『四福音書』（ゴールデン・コッカレル・プレス）	1931 刊	木口木版・紙／本
D. ホックニー	『六つのグリム童話』C版	1969～70	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙／本
D. ホックニー	『六つのグリム童話』C版より ラプンツェル・鐘楼・ガラスの山で何年も過ごした王女・湖	1969～70	エッチング、アクアチント・紙／ポートフォリオ
田中 恭吉（画）／恩地孝四郎（画・装丁）萩原朔太郎	『月に吠える』初版	1917（大正6）刊	木版・紙／本
川上 澄生	『港都情景』書窓版画帖十連聚其の二	1941（昭和16）刊	木版・紙／本
川西 英	『文明開化往来』書窓版画帖十連聚其の三	1941（昭和16）刊	木版・紙／本
勝呂 忠	ハヤカワポケットミステリーブック表紙原画より		油彩・キャンバス

展示室4 ②やきものの美



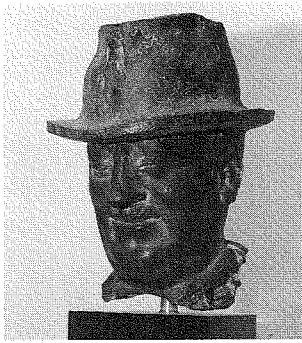
浜田庄司「黒釉流描角皿」

やきものには、陶土の種類、焼成する温度、そして表面に施された絵付や釉薬など、さまざまな要素から生まれる多彩な美しさがあるといえるでしょう。今回は、萩焼や唐津焼などの日本の伝統的な窯元の作品をはじめ、浜田庄司やバーナード・リーチら、民芸運動に参加した作家たちの作品を紹介しています。

また、明治初期に来日したクリストファー・ドレッサーのやきものには、日本の陶芸から受けた大きな影響を見ることができます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
仁阿弥道八	刷毛目鉢	江戸時代 19世紀	陶器	渡辺宋侑氏寄贈
三輪休雪 (11代)	白萩茶碗	大正～昭和	陶器	渡辺宋侑氏寄贈
加藤土師萌	絵唐津茶碗	昭和	陶器	渡辺宋侑氏寄贈
B. リーチ	白磁魚絵皿	1962	磁器	
浜田庄司	鉛釉花打茶碗		陶器	
浜田庄司	白釉鉄絵茶碗		ストーンウェア	
浜田庄司	黒釉流描角皿		陶器	
田村耕一	鉄絵野草図柄円鉢	1963 (昭和38) 頃	陶器	麻山富義氏寄贈
佐藤潤四郎	陶皿に描く1		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	陶皿に描く2		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	陶皿に描く3		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	陶皿に描く4		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	陶板・仏足石2		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	陶板・仏足石と五輪塔		陶器	寄託作品
C. ドレッサー	金彩筒形三足花器		磁器	
C. ドレッサー	彩色金彩ロータス文大皿		磁器	
C. ドレッサー	青釉水差	1879～82 頃	陶器	
C. ドレッサー	褐釉和風花瓶 (一対)	1879～82 頃	陶器	
C. ドレッサー	彩釉細首水差	1879～82 頃	陶器	
C. ドレッサー	褐釉瓢箪型花瓶	1879～82 頃	陶器	
C. ドレッサー	緑釉球形花生	1892～95 頃	陶器	
C. ドレッサー	色絵蝶花模様瓢箪形壺	1892～95 頃	陶器	
C. ドレッサー	色絵構文龍花瓶 (一対)	1886	陶器	
C. ドレッサー	彩釉把手付花瓶	1879～82 頃	陶器	

ロビー展示 彫刻・他



山本正道「帽子を被る男の肖像」

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寄贈・寄託
●1階展示ロビー				
アントニー・ゴームリー	量子雲ⅩⅢ	2000	ステンレス、スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域ⅩⅢ	2000	ステンレス、スチール棒	
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
●1階サブエントランス				
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
●2階展示ロビー				
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1・2		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	石で仏足跡		石	寄託作品
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ	
高田博厚	アラン像	1932(昭和7)	ブロンズ	
山本正道	帽子を被る男の肖像	1970～74(昭和45～49)	ブロンズ	
佐藤忠良	群馬の人	1952(昭和28)	ブロンズ	
●屋外				
バリー・フラナガン	野兔と鐘	1988	ブロンズ	

※作品は都合により一部展示替えを行うことがあります。